

ヌ マ エ ビ

Paratya compressa compressa

種名



分類	十脚(じっきゃく)目ヌマエビ科
俗称	ヌカエビ
形態的な特徴	大きさは3センチほどの小エビ、体色は緑褐色から青緑色。オスはメスより小さく、2~2.5センチぐらいにしかならない。胸に5対ある足(脚)のうち、前の方の2対に小さいはさみがついている。目の前の方に伸びた額角(ひたいのつ)の上に10数個~30個の小さなとげがあり、そのうち2~3本は目のつけ根よりあとの方に達している。
分布	本州、四国、九州に分布する。
繁殖行動	産卵期は4~8月ころで、長さ0.5~0.8mmの卵を100~400個産み、メスの腹部で保護する。ゾエアと呼ばれる幼生で孵化する。
生息場所	川や池、沼、潟にすんでいるが、平野部や海水の混じるところにも多い。淡水魚の餌として重要、食用になる。
食性	スプーンのような形をしたはさみを使って、水底の有機物を含んだ泥をすくいあげて食べる。
生息環境への配慮事項	

引用文献：新潟県陸水動物図鑑を改変